



## 片側反回神経麻痺の治療の目的

声を出す時は真ん中で左右の声帯をすれ合わせて声を作ります。  
この時、声帯が麻痺したために、隙間が出来て、うまくすれ合う事ができな  
いとかすれ声を生じます。

片側反回神経麻痺の治療は、この声帯と声帯との間にできる隙間を小さくして  
発声しやすくするとともに、息切れやむせの解消を目的とします。

治療の目的
1、声を出しやすく、大きくする
2、会話中の息切れ（疲労感）の改善
3、誤嚥（食物や唾液が気管から肺の方へ入ること）の防止
4、肺炎防止
5、咳嗽（せき）の改善

反回神経麻痺（声帯麻痺）と診断されますと、6 か月間は定期的な経過観察のみ  
（初期の場合はステロイドを投与する場合あり）となります。これは自然に治  
る可能性があるからです。

今回の場合は、メチコバールが投与されて症状の改善がみられたようです。